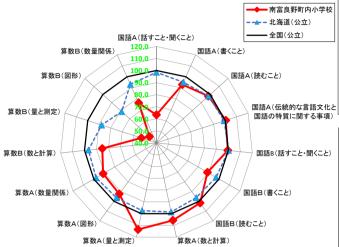
■南富良野町内小学校の状況及び学力向上策(学校数:2校、児童数:16人)

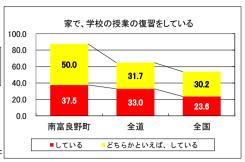
【教科全体の状況】

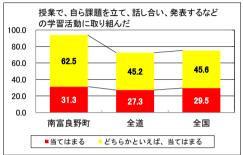
教科の領域別に全国を100とした場合の全道及び市町村の状況をレーダーチャートで示したもの

(市町村の平均正答率÷全国(公立)の平均正答率×100で算出)



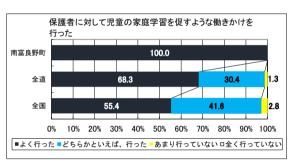
【児童質問紙調査】





【学校質問紙調査】





【分析】

教 科	○ 国語Aでは、「伝統的な言語文化と国語の特別 質に関する事項」、Bでは「読むこと」で全国 を上回っている。
	〇 算数Aでは、「数と計算」「量と測定」で全国 を上回り、Bでは、「数と計算」で全国に最も 近くなっている。
児童質問紙	○「家で、学校の授業の復習をしている」と回答した児童の割合が、全国及び全道を上回っている。
が 主 貝 i 内 がい	〇 「授業で、自ら課題を立て、話し合い、発表 するなどの学習活動に取り組んだ」と回答し た児童の割合が、全国を上回っている。
学校質問紙	○ すべての学校が、「算数の指導として、家庭 学習の課題(宿題)をよく与えた」と回答している。
	○ すべての学校が、「保護者に対して児童の 家庭学習を促すような働きかけを行った」と 回答している。

- 授業において、自ら課題を立て、話し合い、発表するなどの学習活動を位置付けたことにより、学習内容の定着が図られ、国語の2領域で全国を上回ったと考えられる。
- 学校の授業の復習を行うよう家庭で指導する とともに、算数の宿題を計画的に与えたことに より、「数と計算」など算数Aの2領域で全国を 上回ったと考えられる。
- 保護者に対して児童の家庭学習を促すような 働きかけをよく行ったことにより、家庭学習の 習慣化が図られ、国語及び算数の4領域で全 国を上回るなど、学習内容の定着が図られた と考えられる。

【南富良野町の学力向上策】

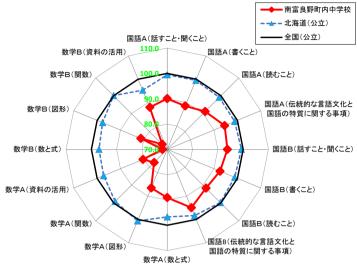
- ◎ 土曜授業等を生かした習熟の程度に応じた指導などによるきめ細かな指導の充実
- ◎ 長期休業中の朝活授業「南プ塾」の実施などによる基礎学力の定着を図る取組の推進
- ◎ タブレット等のICT機器の活用による実践研究の促進

■南富良野町内中学校の状況及び学力向上策(学校数:1校、生徒数:28人)

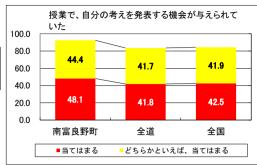
【教科全体の状況】

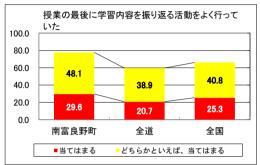
教科の領域別に全国を100とした場合の全道及び市町村の状況をレーダーチャートで示したもの

(市町村の平均正答率÷全国(公立)の平均正答率×100で算出)

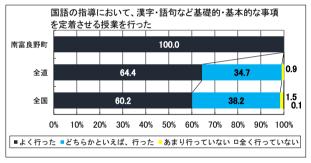


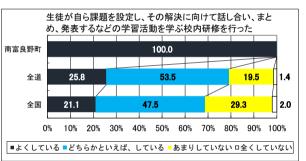
【生徒質問紙調査】





【学校質問紙調査】





【分析】

教 科	○ 国語A・Bでは、「伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項」で全国に最も近くなっている。○ 数学Aでは、「数と式」、Bでは、「資料の活用」で全国に最も近くなっている。	
生徒質問紙	○ 「授業で、自分の考えを発表する機会が与 えられていた」と回答した生徒の割合が、全 国を上回っている。	○ 授業において、自分の考えを発表する機会や 学習内容を振り返る活動を位置付けたことにより、日常の授業改善が図られたと考えられる。
	○ 「授業の最後に学習内容を振り返る活動を よく行っていた」と回答した生徒の割合が、 全国を上回っている。	
学校質問紙	○ 国語の指導において、漢字・語句など基礎 的・基本的な事項を定着させる授業をよく 行った。	○ 生徒が自ら課題を設定し、その解決に向けて 話し合い、まとめ、発表するなどの学習活動の 充実について、校内研修を行ったことにより、 日常の授業改善が図られたと考えられる。
	○ 生徒が自ら課題を設定し、その解決に向け て話し合い、まとめ、発表するなどの学習活動を学ぶ校内研修をよく行った。	

【南富良野町の学力向上策】

- ◎ 確かな学力の定着に向けた学びの連続性を見据えた小中高連携の取組の推進
- ◎ 放課後や長期休業中に補充学習を実施するなど基礎学力の定着を図る取組の推進
- ◎ タブレット等のICT機器の活用による実践研究の促進